

## 登米市立小中学校等再編構想の基本的な考え方

### ○背景

多くの自治体が課題としているように、登米市においても少子化による児童生徒数の減少が課題となっています。この減少傾向は今後も続き、小中学校の学校規模が小規模化することが予想されます。

登米市教育委員会では、本市における小中学校の望ましい学級編制と学校規模の実現を図るため、文部科学省が策定した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」を参酌しながら、「登米市立小中学校再編基本方針」をまとめました。

その中で、登米市では目指す学校像として「児童生徒が、多様な考えに触れ、切磋琢磨することで社会の形成者としての基本的資質を伸ばすことのできる学校」を掲げ、小学校・中学校とも、原則として各学年2クラス以上の学級編成となるような学校規模に再編していくこととしました。

### ○考え方

#### (1) 学校の適正規模・適正配置

登米市立小中学校再編基本方針に基づき、学校の適正規模・適正配置（※）及び学校施設老朽化への対応等、望ましい教育環境の充実に図ります。

#### ※適正規模・適正配置

クラス替えができる各学年2学級以上、小学校は再編後も小規模校の状態が見込まれる場合でも旧町域に1校は配置、通学時間はスクールバスを活用し、概ね1時間以内を基本的な考え方とします。

中学校は当面町域毎の配置とし、再編が必要となる場合は、町域を越えた再編を検討します。

#### (2) 校舎などの有効活用

現有の校舎や施設を活用することで、早期の統合が見込まれることから、必要に応じた施設改修等を行った上で有効活用を図ります。改修等に要する財源は、国の補助や学校教育施設等整備事業債など、有利な財源を活用しながら進めます。

### ○津山地域の状況

#### (1) 小学校の概要



学 校 名	柳津小学校
建築年（経過年数）	昭和53年（40年）
構 造／階 層	鉄筋コンクリート造／3階建
床面積／敷地面積	2,737㎡／11,867㎡
構 成 施 設	校舎、体育館、プール
大規模改修年	平成15年（体育館）



学 校 名	横山小学校
建築年（経過年数）	昭和56年（37年）
構 造／階 層	鉄筋コンクリート造／2階建
床面積／敷地面積	3,221㎡／13,370㎡
構 成 施 設	校舎、体育館、プールほか
大規模改修年	—

(2) 児童数の推移と統合新校の規模

	学年	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R10	R20
柳津小学校	1年生	10	15	6	8	4	4	2		
	2年生	9	11	15	6	8	4	4		
	3年生	12	9	11	15	6	8	4		
	4年生	14	12	9	11	15	6	8		
	5年生	13	14	12	9	11	15	6		
	6年生	15	13	14	12	9	11	15		
	合計	73	74	67	61	53	48	39		
横山小学校	1年生	12	4	7	10	3	4	6		
	2年生	6	12	4	7	10	3	4		
	3年生	16	6	12	4	7	10	3		
	4年生	5	15	6	12	4	7	10		
	5年生	9	5	15	6	12	4	7		
	6年生	13	9	5	15	6	12	4		
	合計	61	51	49	54	42	40	34		
津山合計	1年生	22	19	13	18	7	8	8		
	2年生	15	23	19	13	18	7	8		
	3年生	28	15	23	19	13	18	7		
	4年生	19	27	15	23	19	13	18		
	5年生	22	19	27	15	23	19	13		
	6年生	28	22	19	27	15	23	19		
	合計	134	125	116	115	95	88	73		

※学級編制基準

小学校 1、2年生・・・1クラス 35人

小学校 3～6年生・・・1クラス 40人

複式学級・・・2学年合わせて16人未満